

連続ワークショップ

「中国近代文学の方法と射程」第一回

「如何理解鲁迅杂文？」

【講演者】

張潔宇

(中国人民大学文学院)

【司会】鈴木将久 (東京大学)

【日時】

2022年1月24日(月)

15:00～17:00(日本時間)

【開催方法】

Zoom(事前登録制)



出席を希望される方は、QRコードか下記のリンクから事前にご登録ください。登録した方にZoomリンクをお送りします。

<https://us02web.zoom.us/meeting/register/tZMsc-mrqDIvEtW9Ib-DzhoErCrFObnNPYtd>

【言語】 中国語

2021年、中国文学研究において新たな探究をしている三人の方を招き、中国文学研究が、どのような問題を論じ、いかなる方法を切り開いているのか、その射程はどこまで届くかを考えた。2022年もさらに問題を深めていきたい。今年は、近年中国のみならず世界で注目されている魯迅の「雑文」についての研究と、新たな方法論として話題を呼んでいる「社会史視野」について議論をしたい。

第一回では魯迅の雑文を取りあげる。中国人民大学文学院張潔宇教授を招き、近年の魯迅雑文に関する研究を概観した上で、「どうして魯迅の雑文を論じるのか」、「雑文と魯迅の現代文学観」、「魯迅雑文の芸術的特徴」の三つの話題について講演をしてもらおう。関心をお持ちの皆さまの参加をお待ちしている。

【主催】

- ・東京大学東アジア藝文書院(EAA)
- ・科研基盤(C)魯迅作品日本語翻訳の総合的研究